

平成27年度 第4回西伊豆町立文教施設等整備委員会 会議録

- 1 開催日 平成28年2月1日(月) 午後7時00分から午後8時15分
- 2 場所 保健センター2階 会議室
- 3 出席者 委員は別紙のとおり
藤井町長、宮崎教育長、高木事務局長、江畑
- 5 報道 伊豆新聞

事務局 皆さんこんばんは。 [REDACTED] 本日はお忙しい中、また寒さ厳しい中を夜間の会合にお集まりいただきましてありがとうございます。それでは早速ですが、只今から第4回の西伊豆町立文教施設等整備委員会を開催をさせていただきたいと思えます。なお本日安良里の自治会長様については欠席ということでございます。では最初に委員長からご挨拶をお願いします。

委員長 こんばんは。お疲れのところお集まりいただきありがとうございました。今年も早くも一月が過ぎまして後十一月だなどと思、歳を取るとどんどん日が早く過ぎていくということを思いながら、今日も昼間役場の会議で、夜も会議であわただしい日々を過ごしておりますが、よろしく願いいたします。なお今日は事前に事務局の方から資料をお渡ししてございますので、率直なご意見や感想等をいただければありがたいと思えます。ではよろしく願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは次にオブザーバーとして出席いただいております、藤井町長よりご挨拶を申し上げます。

町長 皆さんこんばんは。寒い中、また日頃の仕事の中でお疲れの所ご苦勞様です。今委員長からお話がありましたように、第3回の時に皆さん方に意見を頂いて取りまとめをしてくださいということで、取りまとめをしてお手元に配布してあると思えます。その辺を煮詰めて話し合っていたきたい。これで結論を出すという訳ではありませんので、色々まだまだ時間をかけてやっていきたいと思えます。また様々な動きもこちらでつかんだ情報もありますので、またこれがどういう格好で行くのか、いつの時期になるかをこの会合の中でまた皆さん方にお知らせしたいと思えます。よろしく願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは早速、3の議題に入らせていただきたいと思えます。議事の進行は委員長にお願いいたします。

委員長 それでは議題の(1)第3回委員会における各団体からの意見について、を議題としたいと思えます。まず、事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、「第3回委員会における各団体からの意見について」ですが、事前に送付させていただきました「資料のNO. 1」により概略を説明させていただきたいと思います。なお、「資料NO. 2」の詳細については、通知でもお願いいたしましたが、事前に内容を確認してきていただいていると思いますので説明は省略をさせていただきたいと思います。では、資料NO. 1をご覧ください。

[Redacted content]

[Redacted text block]

簡単ではございますが、以上で概要説明とさせていただきます。

委員長 今、事務局の方から資料1の説明がありました。これについて如何でしょうか。

[Redacted text block]

では特にご意見ございませんので、今後の整備の方向性についてそれぞれの代表者の方からご意見をいただけたらと思っておりますが、そういう形でよろしいでしょうか。

[Redacted text block]

委員 事前に資料を見させていただいたのですが、資料1にもあるように中学校統合の反対意見もあります。賛成意見も多いということが分かった気がします。優先順位をつけてアンケートを取ったので自分の子どものいる幼保を一番に考えていると思います。でもこれから入ってくる保育園の保護者さん、そして小中へ上がっていく保護者さんというように変わっていくと、そこで意見も変わっていくのだと思いますが、やはり各地区で自分の住んでいる近くに作りたいのではないかと、この意見が多かった気がします。先ほども皆さん言いました通り、統合は賛成がほとんどなのですが、場所の問題ですね。そこが一番ネックになると思います。なので統合の時期の意見として出来るだけ早くというのが多いのですが、そこをクリアしなければいつということにははっきりしないのではないかと、この資料1についてはそう思いました。今のところはそれくらいです。

委員長 では次に賀茂幼稚園のPTA会長よろしくお願いします。

委員 資料を見て、皆さんとかぶってしまうのですが、一番の問題は場所ではないかと。できるできない別としまして、私としては中間に新しく造っていただければいい落としどころなのではないかというところですかね。

委員 [Redacted] 資料1にある通り、どこの幼稚園、小学校、中学校も半数近くは賛成という意見が出ているみたいなので、仁科小個人的にも統合には賛成なのでこの先も統合の話が進んでいってくれればと思います。あと皆さん災害のことを考えてだと思っておりますが、やはり場所は自分達の地域の校舎を使いたいという形態になっているので、一番問題になるのは校舎選びになるのかと思います。自分の方からは今はそれくらいです。

委員 [] 半数以上の合併に対する賛成という形が資料に出ていると思います。やはり自分が思うに小学校にしても自分の小学校を使いたい、中学校にしても自分の中学校を使いたい。やはりこの場所の問題を解決しない限りは、アンケートや会合を続けてもおそらくずっとこのままでいくのではないかと思います。このネックの部分解決しないとこのままずるずる行くのではないかと思います。以上です。

委員 [] 保護者の意見を見させてもらって感じたことは、賀茂小側としては小学校は残してほしい。だけど人数が少なくなるので統合はやむを得ないという意見が多かったです。中学校が統合していくのは致し方ないのかと思いますけど、みんな同じで場所は自分たちの所というのが出ていますが、安全を優先するような格好でやってほしいと思います。

委員 [] 西伊豆中学のアンケートで資料の上では、賛成が8割賛成でこのアンケートでもありますが、幼稚園の代表の方が言っていた通り、やはり皆さん自分たちの地区がいいという形がありますが、やはり合併することによって人数が増える、子ども達が競え合える、競争心が高まるとかそういうメリットがあるわけですから、やはり8割というのは、合併したいというのは保護者を代表して強いのではないかと思います。ただやはり場所的な問題になってくるのではないかと思いますけど、当西伊豆中学では旧田子中の生徒と合併して長く時間が経っていますが、その中田子地区の方はバスで仁科まで通学してきます。田子地区の方もこの賛成の中にいるわけですから、場所がある程度固まればある程度のバス通学も皆さん慣れてくるのではないかと思います。なので、最終的な問題とすれば場所だと思います。以上です。

委員 [] 意見的なことに関しては他の委員さんが言った通りだと思います。なのでちょっと違った形で報告したいと思います。前回第3回が終わってから、PTAの父兄で何人かと話をしたのですが、アンケートが来ても合併するかしないか、賛成か反対だけのアンケートなので何年後に合併するのか、例えば施設を整えてから合併するには何年かかるのか、そういうのが具体的に分かった方がアンケートとしては答えやすかったという意見が何人かからありました。それと場所に関して、個人個人に話しただけなので様々な意見があったのですが、例えば中学校を西伊豆中へ置いた場合は、小学校を賀茂に置き、幼保を高台へという意見を聞いたのですが、幼少中三種をローテーションするような形。例えば一番安全な場所に幼稚園、保育園。二番目に安全な所に小学校という形の、危険に対して順応できる年齢ならばある程度浸水が見込まれてもそこでもいいのではないかと第三回話し合いの後に聞いたのですが、そう言われて見れば幼稚園が一番危ないところにいるのだったら、中学生が三番目に安全な所にいた方が、避難する時は順路も分かり、体力もあるので早さもあるので確かにそうですねと思ひまして、第三回話し合いの後で色々な方と話をしました。それで西伊豆中学校の改造をして二階か

ら屋上へと行ける通路を作るという形の意見が、この前そういう話をしたのですが、賀茂小学校も10数年前に2階から屋上へと続く階段があったと思います。なぜとっておかないで廃棄したのかという意見があったのですが、答えることができなかったので、そういう建築的な物で取り壊しになったのか、屋上が危ないから取り壊しになったか分からないと濁すような形で意見を聞きました。以上です。

委員長 では校長先生お願いします。

委員 幼稚園については私は早くやった方が良いのかと。場所的には安全な場所。例えば仮設でもいいので、そういう風にとりあえず近くへと持っていった方が良いかと思えます。小学校については中身を見てみると、田子小と仁科小の保護者はまとまる形があるのかと。賀茂小とはちょっと違うところがあるのかと思っております。田子小の保護者の中には複式を解消するために、早い統合をとという意見があったと思います。中学については、西伊豆町内だけというよりも、西伊豆の教育ということ、松崎高校のことを考えたら今中高一貫をやっているわけですけども、問題になっているのは併設型にするのか。併設型にすると入試をしなければいけないという所。そこがネックになるのではないかと思います。それを何とかできないかと話をしましたけども、それは無理ということでした。 [REDACTED]

[REDACTED] 例えば災害時に子ども達を送っていくとき、右へ左へと職員が分かれていくよりかは、一つの方向へと行った方が対応がしやすいのではないかと思います。そういう形で中学については高校を視野に入れた形のをできないのかと。行政主導でこういう方向でこういう施設を作つてという案を出して進めていかないと進まないのではないかと思います。

委員 [REDACTED] 保護者の意見等は尊大な意見で、これ以上聞かれてもというところはあるのではないかと思います。個人的な意見で申し訳ないのですが、資料1の場所の主な意見というところが、自分の学校のところにあるということのを重要視して賛成の意見を拡大解釈すると、出来るだけ早くというのが、条件が揃ったらできるだけ早くというように読み替えると、現状のままでもまだいける気もあるのではないかという気もします。学校長なので自分の学校がなくなるというところもあるのですが、例えば複式ではなく複々式というものがあってそこら辺になったら合併を考える。そこまでは地域の学校でどこも素晴らしい教育力がありますので、地域を大事にするという考え方もこの資料を拡大に読み取るとそういう願いが保護者にはあるのかと考えたりします。

委員 [REDACTED]

私たち職員はこの町の事業について賛成反対などの立場ではないので、話をする中では、学校数が減り職員が減るのは寂しいけど、この少子化の波の中では仕方ないかという感じです。ただ職員に話をしていることは、人数が少なくなったから、少人数だから何かができないということではなく、少人数だからゆえに何かができるというような少人数を強みにできるように考えないといけないということで、例えば強みとして小回りが利くとか目が行き届くなど思いつくところはそのようなところですが、これを生かして子どもに力をつけていくということを考えていくのではないかという形で職員は意思を固めているところであります。

委員 [] 保護者のアンケートの調査結果については本校の会長さんがおっしゃったとおりです。その詳細については、やはり反対の意見というのは出来るだけ統合をしないで、この規模で出来たらというのが主な考えのようでした。賛成の意見については、中学生の保護者の場合、中学校の学校統合を考えたときに、部活動のことで生徒数の適正規模を運営する上での生徒数を確保する。できるだけ多くの人数の中で学ばせたい。あと大人数の方が競争心が出てくるのではないかというような意見が主だったと思います。学校としてはやはり賀茂中学校や西伊豆中学校の生徒にとって、いずれは小規模になってしまう時期が来ますので、その時期になったら統合はやむを得ないのではないかという意見が多いのではないかと。生徒にとって一番いいタイミング、時期、施設を検討していただきたいというのが本校の考えです。以上です。

委員 [] 基本的には出生数等を考えていったときには、もう統合はやむを得ないだろうと保護者の方も理解しているのではないかと思います。けれども、ただ学校を運営している立場としては、保護者の方が気が付かない様々な問題点があるのではないかと思います。例えば部活動については大勢の人数で、たくさんの種類の部活の中から選ばせたいという発想はもちろん大事だと思います。ただ場所によっては部活動の活動時間を確保できないという問題が出てきます。例えば今は日没をひとつ基準として、その後何分以内くらいに一番遠い生徒が家に着くような安全面に配慮をしてというようなことをしているわけですが、そうすると賀茂中学校の場合には冬時間で一番短いときは4時10分に終わります。立地条件によってはもしかしては3時台に学校を出さなければというような問題もあるのかと。それから本年度も風水害によって時差登校をおこなうというようなことあったわけですが、今までだったら10時までに登校しなさいということで、その後3時間目以降授業が確保できましたが、場所によってはそういうこともできないことも可能性としてあるということで、ようは何処に新しい学校ができるかということになるかと思うのですけれども、その辺のことも含めてご意見伺いながら統合の方向を考えていくということも必要なかと資料を見て思いました。学校の規模に関しては、私たちはいくら小規模校であっても目の前にいる子ども達のために何ができるかということで学校を運営しているわけですので、その部分については学校がしっかりやっていくしかないと思っております。

委員長 では区長会長さんお願いします。

委員 [] 昨年度の資料から見させてもらいました。昨年度最初のころは幼稚園の統合から入り、今年春の時には中学の話。今もろもろ全体の話をしている中で、やはり全て総論で終わっていますよね。教育行政というものは大事で、町の行政がその辺の線引きを明確にしてもらって、リードしていくことは必要ではないかと思います。今さっき小人数ということとそれからどれくらいの人数というのは、ここで検討しても具体的な物は出ないと思います。これくらいの規模にならなければいけないとかという話になっているようですが、後は専門家の方、行政の方が線引き、段階的な物を具体的に進めた方がうまくいくのではないかと思います。よろしくお願いします。

委員 [] 区長会の中で話し合いました。最初に中学校の統合の話になりまして、統合は賛成でありました。場所は安全な面を考えて、より津波の被害が少ない賀茂中学校に統合するという意見でした。その後宇久須地区安良里地区の保護者の意見が下されまして、町長さんが白紙化するようなことで、もう一度会議をかけてもらったらとりあえず町の考えている将来図を見据えておいて、そして考えていかないと考えることはできないという風に言われました。要するにマスタープランが必要である。それを聞いてこいということで、この間の会議に来たのですがなかなかマスタープランを示さなくて、教育委員会の議事録や総合教育会議の議事録等をインターネットで探したのですが、ついにはヒットしませんでした。これは地方教育行政の組織及び運営に関する法律で議事録を公表しなければならないということになっているわけですが、西伊豆町総合教育会議という形で検索したら、静岡新聞の記事しか出ませんでした。他の南伊豆町とか伊豆市辺りの議事録は出てくるのですが、西伊豆町は出てこないのがマスタープランをつかむことができないというのが現状です。最終的には一つの幼保こども園、小学校、中学校になるのだろうということは想像し難くないと思います。ただそこまでどうやって持っていくのか。最終的には一つにするにしてもステップがあるのだと思います。そのステップを考えていくことだと思います。まずはこの資料1から拝見すると、幼保園等については仁科、伊豆海、賀茂いずれも賛成は半分以上なのですよね。特に保育園あたりだと、なかなか逃げることもできないということも考えると、第一優先は幼保を安心安全な高台にとりあえず合併するということがこの資料から読み取れる意見だと思います。それをやってその子達が小学校に上がるくらい、もうすでに顔見知りのわけですから小学校の合併を考える。ただどうしても地域エゴが出ますから、町長さんがよく町づくりの基本は安心安全だということ仰っていますから、地域エゴを無くすためにも高台の中間地点あたりにまず幼保を作って小学校を作る。最終的には中学校も安心安全な高台に作るというのが地域エゴを排する唯一の方法ではないかと。例えば仁科に通うにしても、大久須に通うにしても時間的にはそれほど差がない。といった話で最終的にはそういう形になるのかと思います。以上です。

委員長 ありがとうございます。それぞれの立場の中で意見を伺ったわけですが、それぞれの統合に対する基本的な考えについては、資料1の数的な物もこうやって見るとやはり避けては通れない課題であると思います。事務局長さんが言われた総論賛成、各論反対。その反対のところのうまくいかない所が、ひとつのそういう状態に考えられていくのではないかと思いました。それからやはり条件整備というのでしょうか。今マスタープランという話も出ていましたが、要するに見通しとかそういう町、行政のサイドの一つの方向性というものを受けて動いていくという重要さというのも聞かれているのだと思います。また条件整備が整った段階の一つのタイミングというようなことだとも思いました。それから優先順位がというような意見もありました。一番体力的に幼い子ども達の教育の場所というのを一番考えていかなければというようなことを思いました。それぞれの意見を聞いていて、絞りきるというのはなかなか難しいのではないかと思いました。やはり今後を考えていくうえで色々な選択肢がこの中に入っているのではないかと思うわけですが、校長先生方も言いましたが中学校においてはもっと拡大的な広い視野に立った中高一貫教育も考えてやっていくとか、それぞれ皆さんからいただいた意見の上に感想とかありましたらお聞きしたいと思います。そういう中でどのような選択肢が今後考えられるかということも含めてご意見いただければありがたいと思っております。

委員 一点よろしいでしょうか。■■■■区長会で発言を聞いていると、部活動のことで先生たちから話がありましたが、部活動というのは現在行われておりますが、教育の本質から言いますと、教育の本質というものは教科指導、生活指導、進路指導の三本柱だと思うのです。そして部活動というのはそれにプラスアルファ的なものだと思います。だから部活動を最優先に考えるのはおかしいのではないかという話を宇久須区長会で言ったことがあります。だから確かに賀茂中学校辺りは部活の数は少ないのですが、それぞれ優秀な成績を収めています。必ずしも人数が多い方から優秀だという訳でないと思います。私は南伊豆分校という1学年1クラスの学校に勤務していましたが、農業に関する研究とか意見発表では9年間静岡県で最優秀でした。FFJという学校農業クラブという組織があるのですけれども、たくさんの農業高校がある中でたった1クラスしかない学校でも最優秀を9年連続で取ることができました。というようなこともありますし、あるいは私の妻辺りは賀茂中学校出身でバレーボール部にいたのですが、駆り出されて400mリレーで出たとか言っていたので、必ずしも人数だけではない。前に学校に行ったとき5キロ走というものを拝見しました。子ども達が一生懸命走っている姿を見て、こういう教育もあるのだと思いました。そのような形で部活動というものは教育の本質、中心ではないと思いました。

委員 ■■■■の意見と違うのですが、部活は健全な肉体と精神を養うためにやっている風に、ある校長から伝達を受けているのですが、■■■さんの言うのは成績云々ではなくて先輩後輩のちゃんとした精神、つながりによって、そういう肉体と精神の健全化を図るために部活を構成しているの聞いていたのですが如何ですか。

所が離れている、高校の中になくて離れているということです。一貫教育というのは二つに分かれておまして、連携型というのと併設型というのがあります。併設型というのは中学に入るときに受験があって、中学3年間と高校3年間の6年間同じ学校に行きます。それは設置者が同じ県立というパターンです。今ここでやっているのは併設型ではなくて連携型ですから、普通に高校に入るときに受験があるという方式を取っております。先に話がありましたが、今の同じ連携型なのだけれどもたまたま校舎のある位置が松崎高校の中の空き教室を使って移転できれば規模がそこに集まります。そうすれば中学高校の一貫教育、部活もできるし、中学高校の6年間を見据えた教育もできるというようなメリットがあります。ただ皆さんの今までの希望というのは地元。小学校は地元、中学校も地元ということになっているので、距離的なものが課題になります。ただ規模だけを見れば、これが将来的に見た場合には避けては通れない一つの選択肢という考え方であると思います。ただメリットデメリットは当然ありますので、そういう提案を考えられないことはないということで、こういうことにしてくださいという意味ではないです。こういう選択肢の一つだと考えていただけたらと思います。

委員長 色々な選択肢の中の一つだということでお話いただきました。現実な所、西伊豆町で捉えて統合を考えていくという最終的な次のステップというのが間近にあるという見通しの中で、今現時点としてどうしていくかというところが、非常に先ほど挙げたキーワード、色々な場所とかそういう形の中で、定まっていけないという現実があると思います。

それともう一つは小さい子ども達の高台移転という問題もあるのでは無いか。それを優先的にということはあると思う。それで小学校、中学校。中には幼小中がそれぞれのところに点在していくと児童生徒の安全上、災害等が起こった時の引き渡しなどを考えたときに難しい局面だろうと思う。要するに三人子どもがいたら、それぞれの所に三回迎えに行かなければいけないということになります。それで当初この統合問題が発生した時に、旧洋ランの跡地の活用という話がありました。そのような形の中で、中にはこういう方が雑談の中で幼稚園と小学校、中学校を全部そこに集めて一堂に会したらどうだろうというような選択肢も生まれてくる。そしてそこを学校の一つの子ども達が総合的に一貫して、西伊豆町の教育がなされていくという考え方もあると思いました。

委員 ここで保護者の方々のアンケートを取って、色々なキーワードが出ているわけで、それについての意見をここで出せと言われても難しいと思います。それであるがゆえにここでの意見で安全を優先だとか、高台にというような色々なキーワードがある中で、ではそういう意見を聞いてこういう案があるけれども如何かと言っただけならば、またそこで新たな意見を出すチャンスというのがあると思うのですけれども、その土俵を下りずに意見を出せと言われても非常に苦しいと思う。

委員長 本当に非常に苦しいところなのですけども、できましたら私は前回も言ったようにそれぞれの立場の中での意見が凝縮されている今日の意見を踏まえて多様な選択肢、それぞれ夢を語っていく中で、町がそれに対して色を付けて道筋をつけていく。私はそれが我々としては意見が極端な形として出しているということを踏まえると校長先生が言われたようなことに尽きるのではないかと考えているのですが、皆さん如何でしょうか。

委員 地域の問題、場所の問題で引っかかってきていると思います。最終的には西伊豆町は一つになるしかないと思うのですけども、その過渡的なプロセスとして小中一貫校という発想を選択肢に入れていただきたいと思います。前にも言ったのですが、賀茂小学校と賀茂中学校は同じ敷地内であって、仁科小学校と西伊豆中学校はほとんど同じ敷地にあるということで考えていくと、その辺りも過渡的なプロセスとして小中一貫校という発想も選択肢に入れてもらいたいと前から言っていますので、是非お願いします。

委員長 というような意見も前回からいただいております。

町当局 皆さんの意見を聞いていると、早く町の意見を出せという意見がちらほら聞こえます。これは私の方で町の体制を整えるのは、議会と話をしなければなりません。皆さん方に話をして、議会が後になると問題が起きますので、皆さん方の意向を議会に伝えて議員の方々と一緒に話をしてみても皆さん方に投げかけるような形を取りたいと思います。それで早く町の方向性を出せと言うのであれば、そういう方向性を取りたいと思います。

委員 よろしいでしょうか。早く町の方向性を出せというのは、最終的なマスタープランであって、過渡的な物もあると思います。

町当局 それは■■■■委員の考え方であって、町の考え方としては議会と話し合っ決めていきたいと思っています。

委員長 今町長さんが言われたご意見ですけども如何でしょうか。

町当局 先ほど言われたように、西伊豆町の子どもが15人程度になってきますので、そうなったときに小学校中学校1学年が15人の学年で維持できるのかというところを学校の先生方と話をしていけないといけないと。1学年15人が各地区で分かると3人、5人、7人とそのくらいの生徒となると学校が維持できないのではないかと。行政としても小さい規模の学校を3つ置いたら良いのか、それとも一つにまとめた方が良いのか。それは経費の面も考えなければいけないので、その辺の検討もしなければいけないと思います。

委員長 複式、複々式という意見もあったと思います。小規模の良さを生かした教育活動というのを近隣でお話されて、一人一人の子どもの良さを伸ばしていくというものもあると思います。是非そういうものも視野の中に入れながら、今後教育行政という立場、またそういう専門機関を通して我々のところで蓄えた意見を一つにまとめると行くことは、非常に難しいと思いますので、私はそういう風に考えているのですが如何ですか。そういう方向にゆだねていくということですが。

町当局 複式。複々式ということですか。

委員長 そういうことではなく、私たちの意見を教育行政という立場、町議会など色々な立場の中に反映させていただいて、道筋を立てていただけたらそれにのっとなって具体的に意見を出すという場面しかございませんが、そういう方向は如何ですか。

町当局 それはもちろん文教施設等整備委員会の意見を尊重しなければいけないと思っております。それと教育委員会の意見も尊重しなければならない。また議会の意見も尊重しなければならない。これは何処の意見を尊重するかは、それは皆さん方の考えている意見がすべて通るかというのはそれはどうか分かりません。いいところで今言われたように、教育行政がと考えた時どうなるか。先ほどありましたように部活がどうということではなく、子ども達が学んでいくのにどういう体制がいいのか。その辺を十分に議論しながら進めていきたいと思っております。ですから皆さん方がおっしゃっている意見が全部入るとは限りませんし、入らないとは限りません。これをまた皆さん方といろいろな所で話したものを持ち帰ってきて、皆さん方に報告してまた話し合うという格好を取りたいと思っております。すぐにといい話ではありませんので、来年再来年という話ではなく、時間をかけて慌てないでやっていきたいのが私の気持ちです。

委員長 というような方向で、事務局さん如何でしょうか。

事務局 一点いいでしょうか。ほとんどの方が場所の問題というようなご発言があったかと思うのですが、ではそれを解決すべき案としてどのようなものが考えられるかというようなことを、先ほどの中間点に新設という意見とか、松高への併設ということもありましたけども、それをそれぞれの地域に欲しいというものを、こうやって統合ができるというような皆様の意見があれば、ご発言していただければというように思います。

委員長 具体的なものがもしありましたらよろしくお願いします。

委員 区長会ではなく個人の意見なのですが、第一優先は避難することの出来ない幼保の統合。高台移転、安心安全な所に統合すること。小規模というメリットを生かすためにも、土肥あたりでも行うような小中一貫校を行う。さらにその上に人間が減

ってきたら西伊豆町の学校を一つにするか、松高と合わせるというような形でやるのがいいのかと考えます。

委員長 他には如何でしょうか。何度も言いますが、数的な物の中で統合問題は避けて通れないというようなことを私も言いましたが、色々なキーワードというか上下整理というものが、それぞれ伺えましたのでこういうご意見を資料として今後に生かしていただきたいと思いますが如何でしょうか。そういうことですので、とりあえずこの第4回の文教施設等整備委員会の方向としては、皆さんからご意見を頂いたものと、それぞれのポイントで今すぐに結論を出すということにはいかないという状況の中ですので、じっくり今後の方向性を決めていかれるように、この資料が生かされることを期待しております。ということでよろしいでしょうか。では、ということで十分な進行ができないまま難しい課題を捉えましたけども、今後の西伊豆町の未来を担う子ども達の教育環境を整えるという風な視点で文教施設等整備委員会が行われたものと思っております。是非とも今後、西伊豆町の宝の教育を行うという見地から、今後も皆さんの御協力を頂きたいと思っております。最後にその他ということでよろしく申し上げます。

町当局 私の方から一つだけ。皆さん方報道等でご存知かと思っておりますが、幼稚園、保育園の保育料と幼稚園、保育園の給食費を来年度から無償にしたいということで今手続きをしております。まだ議会で決まったわけではありませんので、なるだろうというくらいの気持ちでいただければありがたいと思っております。どうなるかはわかりませんが、そういう方向で町としては動いております。

委員長 大変素晴らしいご決断を私も新聞で拝見しましてびっくりしました。

町当局 先ほど皆さんが言ったように、児童が少ないからできるのであって、これが多かっただけでできないと思っております。これは逆の発想で少ないからできたと。またこういうことをやって人が移住してくれて、とてもやれないというようなことになるように期待しております。

委員長 大変素晴らしいご決断で、私達も嬉しく思っております。最後に何かありますか。

事務局 今日お配りした資料なのですが、前回の委員会の中でこの資料に関しては公表を控えていただきたいというような意見もありましたけども、事務局としては他に手出しで持ち回っていても構わないのですが、前回そういう意見もありましたので回収するという構いません。今後も話し合いをするということでお持ちしていただくということでも結構ですが。

委員 一つ質問よろしいでしょうか。資料1だけ各区の区長に見てもらおうというのは駄

目でしょうか。

事務局 それは前回、委員さんの方から公表は控えてもらいたいという意見でしたので。

委員 数字だけなのですが。そうしないと区長会としての意見集約ができない気がするのですが。駄目ということでしたらやりませんが。

委員長 私がもし皆さんからご了承を頂いて、事務局からも了承をいただけるのでしたら、区長としてはありがたいと思います。

町当局 これは事務局という話ではなく、皆さん方からこの前そういう意見が出たので、皆さん方がいいということでしたらいい。うまくないということでしたら回収しなければならぬという話です。

委員 資料1なのですが、アンケートを取った時期もあるのですが、今はどちらかと言えば小学校の統合に関しては、賀茂小学校は賛成の方が多いのかと思うのですが、この資料で賛成と反対が同じくらいあるということで賀茂の方で話題になってしまおうと。今保護者が考えていることとは違うかと思しますので、できれば公表は控えていただきたい。

委員長 ではそういう校長先生からのご配慮をとということもございますので、それについては。

委員 やりません。

委員長 その他如何でしょうか。では、ということでこの資料等を事務局の方へお返しいただくということで。また新たにこのような組織が組まれた際にその資料を提示していただけるというもとにさせていただきたいと思います。ではそういうことで色々皆さんに今年度の第4回に出席していただきましたが、この第4回が今後に生きていくというようなことの中で、御協力をお願いしたいと思います。それでは閉会の方をお願いします。

委員 色々な話し合いのなかで、校長先生が教育の専門家というようなことに見られているのですが、私小学校の校長をやっておりますが、実は私は小学校教諭の免許を持っていません。教諭の免許を持っていないのになぜ小学校の校長をやっているのか疑問に思いますか。私が持っているのは中学校と高校の免許なのですが、学校教育に何年間か関わっていれば校長は出来るという規定がありまして、その部分で校長をやらせていただいております。 [REDACTED]

